

一步先行く IBM i 活用セミナー

2009年9月18日(金) 13:00~17:00
IBM箱崎事業所

参加無料

《 セッション・ガイド 》

ご挨拶

13:00~13:10

基調講演

13:10~13:55

『 Smarter Planet 元年の Power System IBM i 』

本年 IBM は Smarter Planet というテーマのもと、お客様のビジネスに貢献する IT 基盤のご提供をめざして各種施策を展開しております。IBM i および Power System も当テーマのもと、製品そのものの先進性、信頼性に加えて各種支援体制や施策をご提供することで、お客様の事業変革・拡大を実現するための IT 基盤としてお役にたてればと考えております。

今回は Smarter Planet のめざすところそこの Power System・IBM i の役割・施策について具体的な事例を交えながらお話しさせていただきます。

日本アイ・ビー・エム株式会社

システム製品事業 理事 パワーシステム事業部長 熊本 義信 氏

■Profile■



1985年 日本アイビーエム入社
1986年 東北地区担当営業
1998年 東日本支社、システム営業担当
2000年 経営企画
2001年 PC販売事業推進部長

2003年 常務取締役補佐
2004年 公益事業部長
2006年 通信・メディア・公益、事業開発
2008年 米国IBM、システム製品事業
2009年 パワーシステム事業部長

このたび日経顧客満足度調査で IBM i は 12 回連続 No1 を獲得いたしました。
これも一重にお客様のご愛顧の賜物だと感謝しております。
今後もお客様のご期待に添えるような製品、施策をご提供できるように努力してまいります。

個別セッション

14:00~16:10

◆ 詳細はウラ面をご参照ください ◆

特別講演

16:15~17:00

『 企業におけるこれからの IT 投資マネジメント 』

100年に一度といわれる未曾有の大不況も、底上げしたと言われ回復が見えてきたとさえいわれています。たしかに、GDP はじめ様々な指標は上昇に転じているようです。そして、この時期こそ、企業の変革に向け、IT を活用した IT 経営を推進すべき好機であるともいわれます。しかし、回復したとしても、企業環境の変化、競争要因、そして IT の活用方法など、大きく変わってしまうことも確かでしょう。このセミナーでは、これからの IT 投資マネジメントのありかたについて、報告させていただきます。苦しい時だからこそ、中堅中小企業にとって真の友としての IT 経営、すなわち、IT を経営に活用することの真価、そして今、何をすべきかについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

武蔵大学 経済学部 教授

経営情報システム担当 松島 桂樹 氏

■Profile■



1948年 静岡県出身
1971年 東京都立大学工学部電気工学科卒
日本アイ・ビー・エム(株)入社
製造業担当営業部門、CIM 主任スペシャリスト、
エンジニアリング・システム企画担当を経て

1995年 岐阜経済大学 経営学部 助教授、
生産情報システム 担当
1999年 経営学博士(専修大学)
2000年 同 教授
2001年 現職
2003年 岐阜経済大学 経営学部客員教授

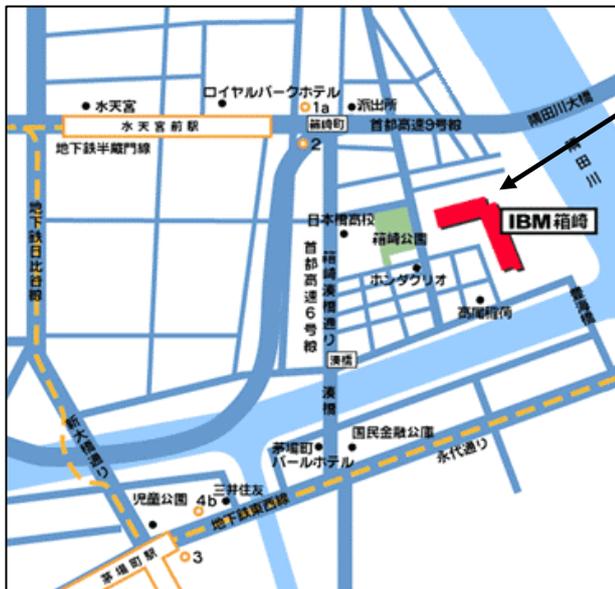
著書 『IT 投資マネジメントの発展 IT 投資の最大化を目指して』(白桃書房, 2007年)
『情報ネットワークを活用したモノづくり経営』(中央経済社, 2004年) など多数

論文 「不況下の IT 投資マネジメント」『iMagazine』No.10, 2009年
「わが国企業における IT 投資マネジメントの現状とその課題」共著『経営情報学会誌』VOL.16 No.3, 2007年
など多数

《個別セッション スケジュール》

14:00～14:40	
◆ データ管理・活用ツール ◆	◆ Web 開発ツール ◆
『DBMoto』と『EspressReport/400』のご紹介	開発ツール『JACi400』活用による Web 化コスト削減事例のご紹介
DBMotoを使用する事により、DB2/400と異種DB間でのデータのレプリケーションを短期間かつ簡単に実現させる事が出来ます。EspressReport/400 は Web 対応のレポート作成・配信ツールです。WebSphere と組合せて使用することでレポートとチャートをサブレット・JSP に展開することができます。	開発ツール『JACi400』を活用しWeb 化コスト(アプリケーション開発、インフラ構築、システム保守等)の削減に成功されたお客様の具体的な事例を紹介いたします。 例) 自社システム開発保守による外部委託費用の削減、IBM i にインフラ統合によるコスト削減等。
株式会社クライム マーケティング部長 川上 真	株式会社ミガロ、 RAD 事業部 技術支援課 課長 吉原 泰介
14:45～15:25	
◆ ハンディターミナル用 5250 エミュレータ ◆	◆ 災害対策用リプリケーション・ソフトウェア ◆
バーコードハンディターミナル対応 『Handy5250』のご紹介	『*noMAX』のご紹介
無線ハンディバーコードリーダーやRFIDリーダーが、e-server iSeries(AS/400)のクライアント端末となります。出荷システムなどのアプリが RPG 等で簡単に開発できます。その特徴・効果と物流現場等での導入事例などをご紹介します。	万が一のことがあった時、『いかに短時間で事業を再開させるか』がキーです。[*noMAX]は IBM i の最新テクノロジーにより実現した、低コストで簡単に導入できる災害対策ソフトウェアです。
株式会社ウェルキャット 特販担当 部長 桑川 正志	マキシマム・アベイラビリティー日本支社 営業部長 高野 泰樹
15:30～16:10	
◆ 汎用 PDF プロセッサシステム ◆	◆ システム運用管理ツール ◆
『iPDC Server』のご紹介	ホスト運用コスト削減に効く『AUTO シリーズ』と 新製品『Hybrid シリーズ』のご紹介
マルチプラットフォームから出力される基幹帳票を一元管理しPDF化します。帳票運用管理コストを削減させ帳票利用範囲も広げるPDFプロセッサ専用のアプライアンスサーバーです。既存帳票の変更は不要。オーバレイ・複写伝票対応も標準実装。オプションでメール・web配信、自動印刷、FAX配信、電子帳票連携など可能です。	24時間365日のホスト運用コストを激減させる『AUTOシリーズ』の機能と事例を交えてご紹介致します。さらに新たに加わった『Hybridシリーズ』の新機能をご紹介致します。
株式会社アイエステクノポート 代表取締役社長 金澤 廣志	ヴァインキュラム ジャパン株式会社 運用プロダクト事業部 グループリーダー 富田 育弘

Access



■セミナー会場
＜IBM 箱崎事業所＞

住所:

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

電話番号: 03-3586-1111 (IBM グループ番号案内)

最寄駅: 東京メトロ東西線/東京メトロ日比谷線

茅場町駅 4 番 b 出口 徒歩 7 分

東京メトロ半蔵門線

水天宮前駅 2 番出口 徒歩 3 分

都バス IBM 箱崎ビル前下車 徒歩 1 分